

やってみよう

パソコンインターネット⑥

▷▷14

最近、テレビや雑誌、新聞などでウェブページ（ホームページ）を紹介しているのをよく見掛ける。今回は、ブラウザ（閲覧ソフト）を使って、そうしたウェブページを呼び出す基本操作について説明しよう。

使うのは半角文字

ブラウザがインターネッ・エクスプローラであれば、上部に「アドレス」という欄がある。そこに、httpで始まる現在表示中のページの在りか（アドレス）が表示されている。ここに表示中のアドレスと入れ替える形で見たいページのアドレスを入力すれば、世界中のどこからでも情報を取り出せる。電話機で特定のページが呼び出される。その

際、先頭のhttp://までは省略してもよい。アドレスは基本的にすべて半角、すなわち、日本語を入力をオフにして入力する。途中で入力を間違えた場合は一文字を削除する「Backspace」キーや「Delete」キーで修正しよう。

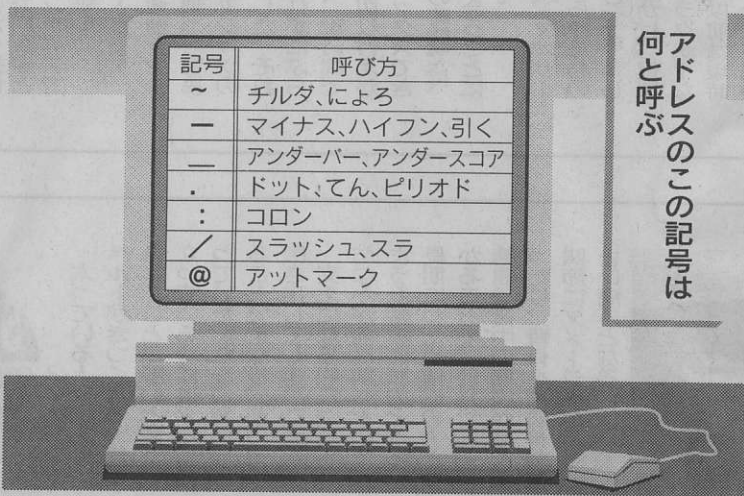
アドレスを入力する

アドレスの表記法や意味についても学ぼう。アドレスは正式にはURL（Uniform Resource Locator）と呼ぶ。インターネット上の情報の在りかを示す統一的な表記法という意味だ。「統一」というのは、ウェブページ以外にもインターネットには様々な情報サービスがあり、それを一つの表記法で表現できるようにしたといいたい。

ウェブページの場合、httpで始まり、それに/を冠したコンピュータの名前と組織名が続き、さらに「http://www.nikkei.co.jp/index.html」なり「nikkei.co.jp（日本経済新聞社）」で区切られて、ページ名という組織に属するwww（ファイル名）が続くのが、という名前のコンピュータに置かれたindex.html一般的だ。

アドレスのこの記号は何と呼ぶ

記号	呼び方
~	チルダ、による
-	マイナス、ハイフン、引く
_	アンダーバー、アンダースコア
.	ドット、てん、ピリオド
:	コロ
/	スラッシュ、スラ
@	アットマーク



という名前のページを意味する。姓名に例えれば、組織名が名字、コンピュータ名が名前に当たる。

一字違っても不可

ただ、最近のウェブページは、入力しやすいように、wwwやindex.htmlなどのコンピュータ名やページ名に当たる部分を省いて表記していることも少なくない。

重要なのは、雑誌などに載っているURLを正確に入力することだ。電話番号と同様、これらを一文字間違えただけでも呼び出せない。

なお、初心者には「~」の入力によく戸惑うが、これは「チルダ」と読み、ウィンドウスパソコンの場合、キーボードの右上、「~」キーの左にある「~」キーを「Shift」キーを押しながらたたけば出てくる。

（パソコン評論家

山田 祥平）